

《専門教育科目 専門応用科目》

科目名	読書と豊かな人間性				
担当者氏名	岡 美佳				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択必修	開講年次・開講期	3年・春期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力		◎ 専門応用-2 豊かな人間性の醸成 ○ 専門応用-5 指導・保育の専門性			

《授業の概要》

子どもが本を読まなくなった、と言われて久しいが、本を読まないのではなく、読むきっかけがないことが多いのではないか。この授業では、子どもが本を読むきっかけになる、大人の側からの働きかけの様々な方法について学ぶ。適宜、受講者による活動を取り入れながら進めていく。

《授業の到達目標》

読書行為や制度における歴史の変遷を理解する。
 子ども達に読書の楽しさを伝える方法を学ぶ。
 記述から具体例を想起し、記述と対応させつつ専門書を読むことに習熟する。

《テキスト》

山元隆春編 2015『読書教育を学ぶ人のために』世界思想社

《参考図書》

特に指定しない。制作物を基にしたブックトークの実践を予定しているため、興味のある受講者は図書館等でブックトークについての関連書籍を読んでおくことよい。また、受講者自身の読書のきっかけにつながるよう、折に触れて担当者が関心を持ったさまざまな本を紹介していく。

《授業時間外学習》

図書館等を利用し、日常的に本に親しむことを心掛けること。

《成績評価の方法》

提出物・発表 30%、期末レポート 70%

《備考（教員経験の有無）》

専門書の読み方を学ぶため、教科書の精読、教科書記述を踏まえた意見交換を授業で行う。そのためテキストは必ず手に入れておくこと。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	オリエンテーション	オリエンテーション
2	読書教育の存在理由 (1)	読書教育の存在理由 (1) 「冊子」形態の意義について考える 教科書の精読を通して専門書の読み方を学ぶ
3	読書教育の存在理由 (2)	読書教育の存在理由 (2) 現代における読書の意義 教科書の精読を通して専門書の読み方を学ぶ
4	読書教育の存在理由 (3)	読書教育の存在理由 (3) 読書の継続・習慣化/読書とリテラシー 教科書の精読を通して専門書の読み方を学ぶ
5	ブックトークとは	ブックトークについて学ぶ
6	ブックトークを企画する (1)	ブックトークを企画する (1) (ブックトークのテーマを考える、本の選定)
7	ブックトークを企画する (2)	ブックトークを企画する (2) (選定した本の紹介ポイントを考える、紹介に使う制作物を制作する)
8	ブックトークを企画する (3)	ブックトークを企画する (3) (紹介につかう制作物を制作する)
9	ブックトークを発表する	ブックトークを発表する
10	読書感想をひらく (1)	読書感想が構造的に持つ難しさについて、教科書を手掛かりに考察する
11	読書感想をひらく (2)	読書感想を言葉にするための着眼点について、教科書を手掛かりに考察する
12	読書感想をひらく (2)	さまざまな読書感想文の形態を知り、読書教育の実践への活用方法を考える
13	感想の交流を図る (1)	感想を交流することで読書経験がさらに深まることを学ぶ
14	感想の交流を図る (2)	読書感想の交流を実践する
15	まとめ	これまでの授業のまとめ

《専門教育科目 専門応用科目》

科目名	読書と豊かな人間性				
担当者氏名	岡 美佳				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択必修	開講年次・開講期	3年・秋期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力		◎ 専門応用-2 豊かな人間性の醸成 ○ 専門応用-5 指導・保育の専門性			

《授業の概要》

子どもが本を読まなくなった、と言われて久しいが、本を読まないのではなく、読むきっかけがないことが多いのではないか。この授業では、子どもが本を読むきっかけになる、大人の側からの働きかけの様々な方法について学ぶ。適宜、受講者による活動を取り入れながら進めていく。

《授業の到達目標》

読書行為や制度における歴史の変遷を理解する。
 子ども達に読書の楽しさを伝える方法を学ぶ。
 記述から具体例を想起し、記述と対応させつつ専門書を読むことに習熟する。

《テキスト》

山元隆春編 2015『読書教育を学ぶ人のために』世界思想社

《参考図書》

特に指定しない。制作物を基にしたブックトークの実践を予定しているため、興味のある受講者は図書館等でブックトークについての関連書籍を読んでおくことよい。また、受講者自身の読書のきっかけにつながるよう、折に触れて担当者が関心を持ったさまざまな本を紹介していく。

《授業時間外学習》

図書館等を利用し、日常的に本に親しむことを心掛けること。

《成績評価の方法》

提出物・発表 30%、期末レポート 70%

《備考（教員経験の有無）》

専門書の読み方を学ぶため、教科書の精読、教科書記述を踏まえた意見交換を授業で行う。そのためテキストは必ず手に入れておくこと。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	オリエンテーション	オリエンテーション
2	読書教育の存在理由 (1)	読書教育の存在理由 (1) 「冊子」形態の意義について考える 教科書の精読を通して専門書の読み方を学ぶ
3	読書教育の存在理由 (2)	読書教育の存在理由 (2) 現代における読書の意義 教科書の精読を通して専門書の読み方を学ぶ
4	読書教育の存在理由 (3)	読書教育の存在理由 (3) 読書の継続・習慣化/読書とリテラシー 教科書の精読を通して専門書の読み方を学ぶ
5	ブックトークとは	ブックトークについて学ぶ
6	ブックトークを企画する (1)	ブックトークを企画する (1) (ブックトークのテーマを考える、本の選定)
7	ブックトークを企画する (2)	ブックトークを企画する (2) (選定した本の紹介ポイントを考える、紹介に使う制作物を制作する)
8	ブックトークを企画する (3)	ブックトークを企画する (3) (紹介につかう制作物を制作する)
9	ブックトークを発表する	ブックトークを発表する
10	読書感想をひらく (1)	読書感想が構造的に持つ難しさについて、教科書を手掛かりに考察する
11	読書感想をひらく (2)	読書感想を言葉にするための着眼点について、教科書を手掛かりに考察する
12	読書感想をひらく (2)	さまざまな読書感想文の形態を知り、読書教育の実践への活用方法を考える
13	感想の交流を図る (1)	感想を交流することで読書経験がさらに深まることを学ぶ
14	感想の交流を図る (2)	読書感想の交流を実践する
15	まとめ	これまでの授業のまとめ